

会 議 記 録				
会議の名称	決算特別委員会 (全体会)			会議場所 全員協議会室
				担当職員 鈴木 智
日時	平成30年9月19日(水曜日)		開 議 午前 10 時 00 分	
			閉 議 午前 10 時 19 分	
出席委員	小松委員長、西口副委員長(産業建設分科会委員長)、奥野総務文教分科会委員長、平本環境厚生分科会委員長 ほか委員17人 〔湊議長、山本議員〕			
執行機関出席者	桂川市長、石野副市長、田中教育長、玉井病院事業管理者、藤村市長公室長、内田企画管理部長、河原総務部長、田中会計管理室長(会計管理者)			
事務局出席者	片岡事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事			
傍聴	可	市民1名	報道関係者0名	—

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

1 開 議

〔小松委員長 開議 (あいさつ)〕

〔事務局長 説明〕

〔議事調査係長 説明〕

2 決算審査

〔市長等 入室〕

1 0 : 0 7

<市長>

平成29年度予算については、亀岡新時代の実現に向け、さらに積極的かつ大胆に市政運営に取り組むことを基本に、希望を追求し、市民本位のまちづくりを進め、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画を着実に進めるための予算編成を行った。ふるさと納税を初めとした財源確保に取り組むとともに、限られた財源を最大限に、効果的・効率的に活用することを基本に予算執行に努めた。その結果、市税収入が平成25年度以来の100億円を回復するなど、一般会計における実質収支においては、市制施行以来の黒字決算を継続することができた。また、上下水道会計については、黒字決算となり純利益を計上できた。病院事業会計については、昨年度策定した市立病院新改革プランに基づき、一層の医療サービスの向上や経営の健全化、効率化を図った結果、計画を上回る収益を上げることができたが、平成29年度決算としては純損失を計上した。引き続き、新改革プランの着実な実行に努めていきたい。これらの決算については、将来の財政計画や各種まちづくりの計画推進における基礎的データともなるところであり、分析評価を怠

ることなく、有効に活用していきたい。

〔会計管理者 決算状況の概要説明〕

10 : 18

3 その他

＜小松委員長＞

各分科会は、10時30分からとする。

散会 10 : 19